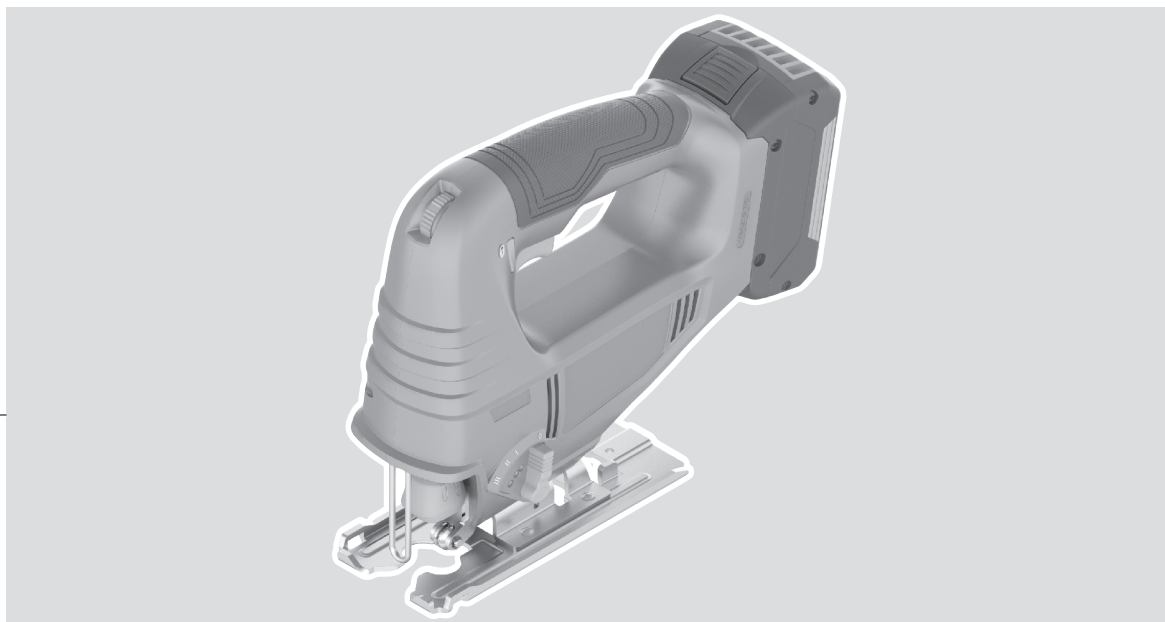




GST 18V-95 B



取扱説明書

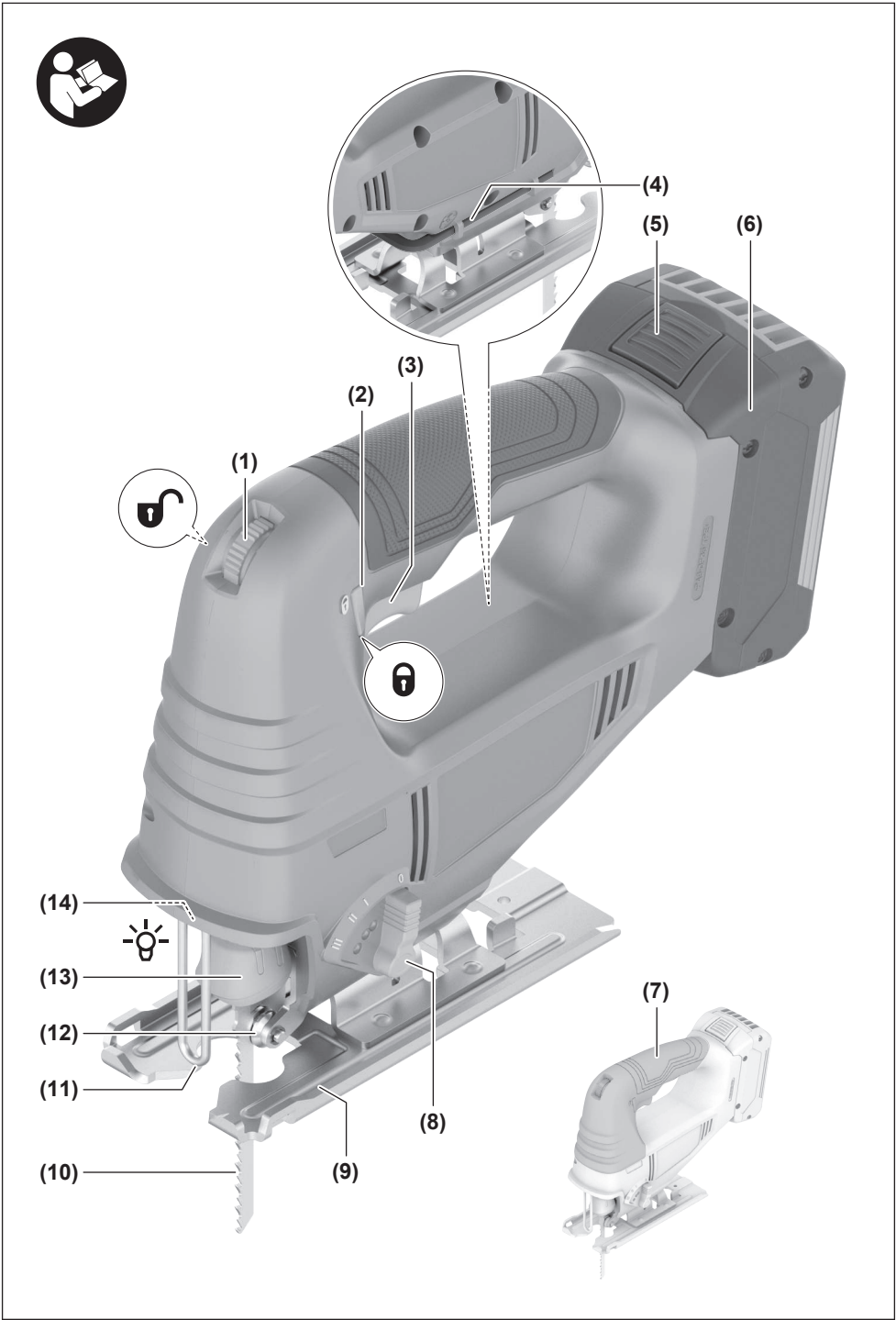
このたびは、弊社コードレスジグソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

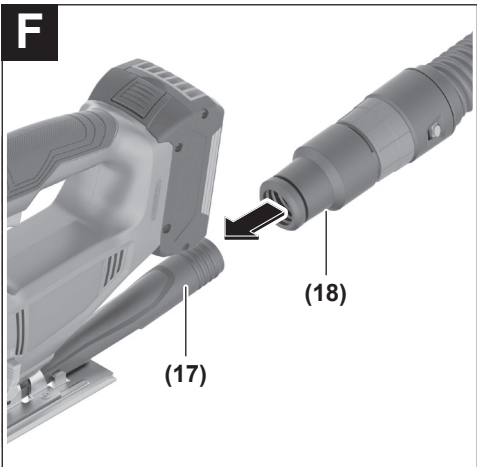
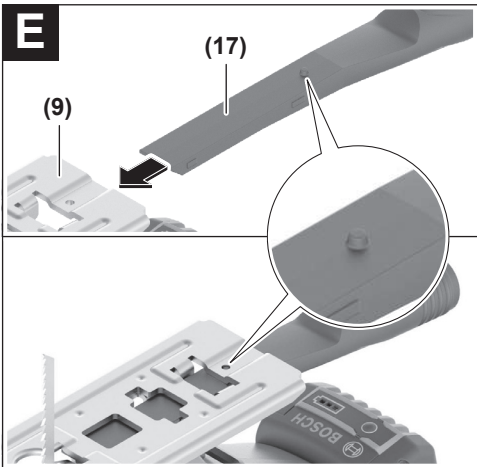
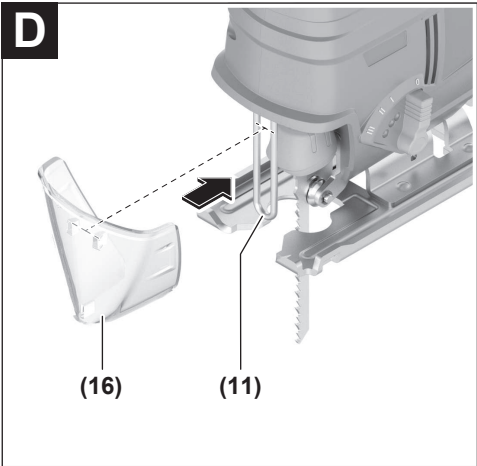
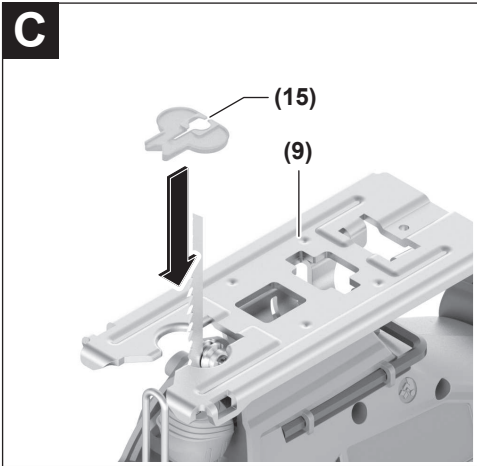
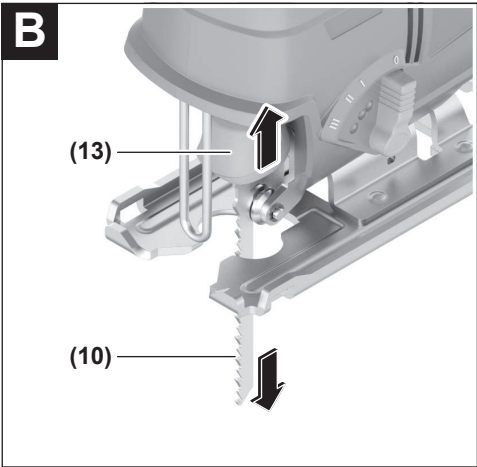
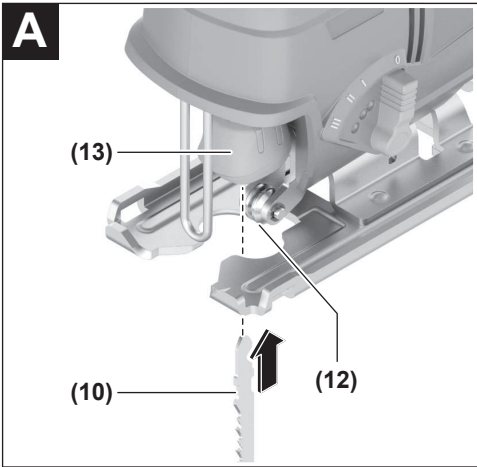
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

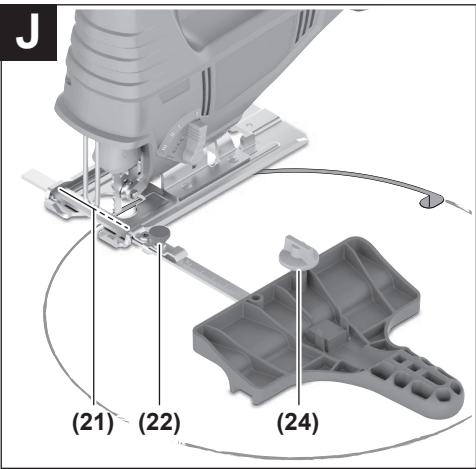
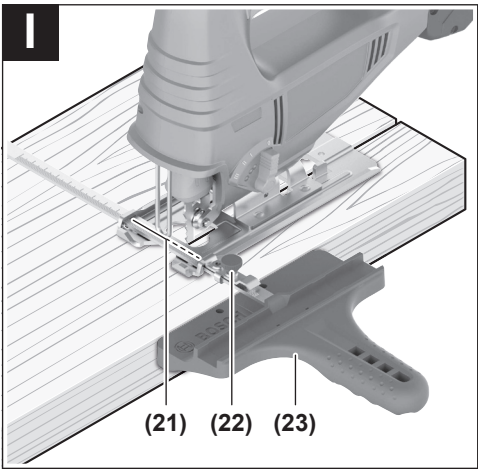
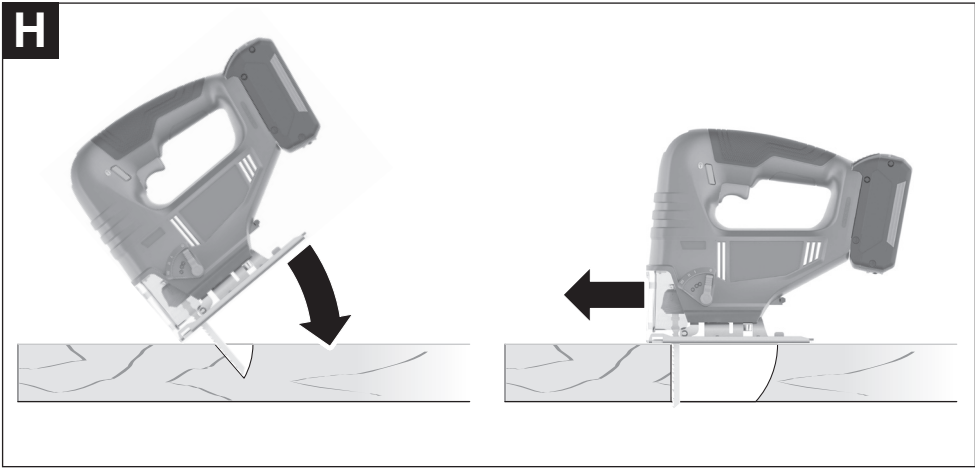
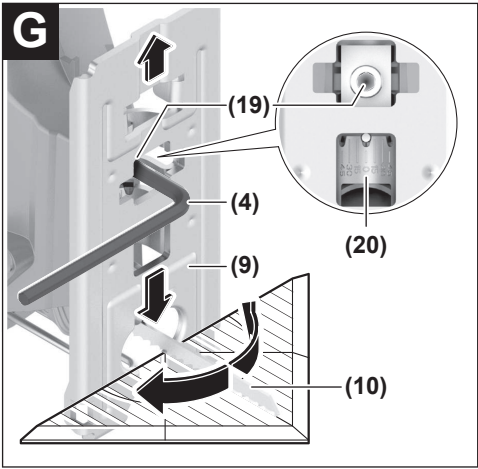


目次

用途	6
記号について	6
警告表示の区分	6
安全規則.....	6
一般的な電動工具の安全に関する警告	6
安全上のご注意.....	8
コードレス電動工具全般についての注意事項.....	8
ジグソーについての注意事項.....	12
本製品について	12
各部の名称	12
標準付属品	13
仕様	13
使い方	13
バッテリーを準備する	13
作業前の準備をする	14
作業する	15
傾斜切断する	18
ポケット切断する.....	19
アクセサリを使う (別売品を含む)	19
吸じんシステムと接続する.....	20
バッテリーを長持ちさせるために	21
リサイクルのために	21
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください.....	21
お手入れと保管	22
クリーニング	22
点検	22
給油	22
保管	22
廃棄について	22
困ったときは.....	22
故障かな?と思ったら	22
修理を依頼するときは	23
保証サービスについて	24







用途

- ◆ 木材やアルミニウム、軟鋼板、プラスチックなどの切断
- ✎ 45°以下の傾斜切断、直線および曲線の切断に適しています。
- ✎ ジグソーブレード(10)の推奨事項を順守してください。
- ✎ LEDライト(14)の灯りは、作業を行う箇所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。
記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
 Li-ion XX	リサイクル識別表示マーク(リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装)
	直流
	移動方向

	解除
	ロック
	ライト

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠ 危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

⚠ 警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般的な電動工具の安全に関する警告

⚠ 警告

電動工具とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。
次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。
必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してく

ださい。

次に示す全ての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示す。

a) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
【作業場】

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花は、粉じんまたは蒸気（ヒューム）を発火させることがあります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
【電気的安全性】

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動工具を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動工具を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動工具を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動工具を湿った場所で用いることが避

けられない場合、漏電遮断器（RCD）によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器（RCD）を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
【人的安全性】

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動工具の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。電動工具の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。
- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動工具を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動工具の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの（余裕のある）衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ（余裕のある）の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

- 8) 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

**d) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
[バッテリー電動工具の使用および手入れ]**

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動工具は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動工具を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。
- 6) 火または高温にバッテリーや電動工具をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。
- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動工具を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

**e) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
[修理]**

- 1) 電動工具の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理する

よう依頼してください。これによって、電動工具の安全性が維持できます。

- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みにになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠ 危険

- ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動工具の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 電動工具やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・

放置しないでください。

- ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠警告

- 正しく充電してください。
- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してく

ださい。

- 感電に注意してください。
- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、電動工具が冷めるための時間を設けてください。
- ◆ 複数個による連続作業は、電動工具に支障をきたすばかりでなく、電動工具の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。
バッテリーから蒸気が発生する場合があります。
蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業に合った電動工具を使用してください。
- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
- ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 雨中での作業は行わないでください。また、電動工具を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
- ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 防音保護具を着用してください。
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
- きちんとした服装で作業してください。
- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。
- 電動工具にバッテリーを取り付けたり取り外したりするときは、スイッチが“切”になっていることを確認してください。
- ◆ スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを取り付けたり取り外したりすると、事故の原因になります。
- 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。
修理を依頼してください。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 無理して使用しないでください。
- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電動工具からバッテリーを取り外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
- ◆ 爆発の恐れがあります。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 損傷した部品がないか点検してください。
- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - ◆ 電動工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の中車など)に保管しないでください。
 - 安全上のご注意は、必ず守ってください。
 - ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
 - ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。
 - ◆ この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。
 - ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - 搬送について
内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。
- △ 注意**
- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、

事故の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ジグソーについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、ジグソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

⚠警告

- 作業中に振り回されないよう、電動工具を確実に保持して作業してください。
- ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- クランプや万力などを利用して、材料をしっかりと固定してください。
- ◆ 材料を手で持ったり、身体で押し付けたりすると、材料が不安定になり、電動工具をコントロールできなくなる恐れがあります。
- 作業中は、ジグソーブレードや切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。また、材料の下に手を入れないでください。
- ◆ 近づけると、けがの原因になります。

⚠注意

- 傷んでいない完全な状態のジグソーブレードのみを使用してください。
- ◆ 折れ曲がったり切れ味が悪いジグソーブレードは、破損、不良切断、またはキックバックの原因になります。
- 必ずベースプレートを取り付けて使用してください。
- ◆ ベースプレートが取り付けられていないと、電動工具のコントロールを失う恐れがあります。
- スイッチを“入”にしてからジグソーブレードを材料に当ててください。
- ◆ 材料に当ててからスイッチを“入”にすると、キックバックが発生する恐れがあります。
- 作業中は常にベースプレートを材料に押し当ててください。
- ◆ 押し当てていないと、ジグソーブレードが

かみ込み、電動工具のコントロールを失う恐れがあります。

- 切断が終わったらスイッチを“切”にし、ジグソーブレードが完全に停止するまで待ってから、電動工具を材料から離してください。
- ◆ このようにしないと、キックバックが発生する恐れがあります。
- スイッチを“切”にした後、ジグソーブレードの側面を押さえて止めないでください。
- ◆ ジグソーブレードが破損・破断したり、キックバックが発生したりする恐れがあります。
- 作業直後の先端工具類(ジグソーブレードなど)や材料、切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
- ◆ 触れると、やけどの原因になります。
- 電動工具を作動させたまま、台や床などに置かないでください。
- ◆ 作動していると、先端工具が表面に引っ掛かり、電動工具がコントロールできなくなる恐れがあります。
- 先端工具類(ジグソーブレードなど)の交換は、手袋・ウエスなどで手を保護してから行ってください。
- ◆ 保護しないと、けがの原因になります。
- 作業時以外でもジグソーブレードに触れないよう注意してください。
- ◆ 不用意に触れると、けがの原因になります。

本製品について

各部の名称

各部の名称の番号は、冒頭のイラスト内の番号を示しています。

- (1)電子無段変速ダイヤル
- (2)メインスイッチロック解除スイッチ
- (3)メインスイッチ
- (4)六角棒レンチ
- (5)バッテリー取り外しボタン
- (6)バッテリー*1
- (7)ハンドル(絶縁グリップ面)
- (8)オービタル切り替えスイッチ
- (9)ベースプレート

- (10)ジグソーブレード
- (11)フィンガープロテクター
- (12)ローラーガイド
- (13)ブレードホルダー
- (14)LEDライト
- (15)バリ止めガイド
- (16)透明防じんカバー
- (17)吸じんアダプター
- (18)吸じんホース^{*1}
- (19)ベースプレート固定ネジ
- (20)角度調整目盛
- (21)ガイド
- (22)止めネジ
- (23)円曲・平行ガイド^{*1}
- (24)固定ピン

^{*1} 別売品

標準付属品

モデル名	GST 18V-95 B
型番	GST 18V-95 B
サンプルブレード	1本
バリ止めガイド	1個
透明防じんカバー	1個
吸じんアダプター	1個
六角レンチ (5mm) (本体装着済み)	1個

仕様

本体

モデル名	GST 18V-95 B
型番	GST 18V-95 B
定格電圧	D.C.18V
ストローク数 (無負荷時)	0~3,300min ⁻¹ (回/分)
ストローク幅	20mm
傾斜切断角度	左右0~45°
最大切断能力 (厚さ)	
木材	95mm
アルミニウム	15mm
軟鋼板	8mm
質量 ^{*2*3}	2.0~3.0kg
推奨充電周囲 温度範囲	0℃~+35℃
使用可能周囲 温度範囲 ^{*4}	-20℃~+50℃
保管可能周囲 温度範囲	-20℃~+50℃

振動3軸合成値 ^{*5}	
木材切断時	4.0m/s ²
軟鋼板切断時	5.5m/s ²
原産国	中国

^{*2} EPTAプロシージャー01/2014に準拠

^{*3} 使用するバッテリーの容量により異なります。

^{*4} 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

^{*5} EN62841-2-11規格に基づき測定

使用可能ボッシュ充電器

品番	AL 18... ^{*6} GAL 18... GAL 3680CV
----	---

使用可能ボッシュプロ用リチウムイオンバッテリー

品番	A 18... ^{*6} GBA 18V... ProCORE 18V...
----	---

^{*6} ボッシュプロフェッショナル18Vシリーズに限る

使い方

バッテリーを準備する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。

使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？

バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

バッテリー残量表示

バッテリー(6)の残量状態を、バッテリー(6)のバッテリー残量表示ランプで確認することができます。

バッテリー(6)のバッテリー残量表示ボタンを押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

☞ 安全のため、本体が停止しているときのみ、充電状態を確認することができます。

☞ バッテリー残量表示ボタンを押しても、バッテリー残量表示ランプが1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー(6)が損傷しています。

バッテリー(6)を交換してください。

☞ 充電状態は、バッテリー(6)を本体から外していても、確認できます。

GBA 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60～100%
緑色2つ点灯	30～60%
緑色1つ点灯	5～30%
緑色1つ点滅	0～5%

ProCORE 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80～100%
緑色4つ点灯	60～80%
緑色3つ点灯	40～60%
緑色2つ点灯	20～40%
緑色1つ点灯	5～20%
緑色1つ点滅	0～5%

バッテリーを取り付ける・取り外す

⚠警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、メインスイッチ(3)がロックされていることを確認してください。

⚠注意

◆ バッテリー(6)を取り付けたり取り外したりするときは、必要以上の力を加えないでください。

取り付け

バッテリー(6)を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

☞ 本機は、バッテリー取り外しボタン(5)が押されただけではバッテリー(6)が外れないよう、バッテリー(6)の取り付けが二重ロックになっています。

⚠注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

バッテリー取り外しボタン(5)を押しながら、バッテリー(6)を本体から引き抜きます。

☞ バッテリー(6)は、無理に引き抜かないでください。

作業前の準備をする

⚠警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず本体からバッテリー(6)を取り外してください。

ジグソーブレードを選ぶ

材料の材質と厚みに合ったジグソーブレード(10)を選択してください。

木材・プラスチックの切断

.....木工用のジグソーブレード

金属などの切断

.....金工用のジグソーブレード

☞ ボッシュ純正T型シャンクのジグソーブレード(10)のみを使用してください。

☞ 切断する材料より、必要以上に長いジグソーブレード(10)を使用しないでください。

☞ きつい曲線を切断する場合は、曲線切断用のジグソーブレード(10)を使用してください。

ジグソーブレードを取り付ける・取り外す

⚠注意

◆ 損傷したジグソーブレード(10)は、使用しないでください。

曲がったり、切れ味が悪くなったジグソーブレード(10)を使用すると、破損や不良

切断、キックバックの原因になります。

- ◆ 切断直後、ジグソーブレード(10)は高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 冷めてから、ジグソーブレード(10)を取り外してください。
- ◆ ジグソーブレード(10)は刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、保護手袋を着用してください。
- ◆ 弊社指定のジグソーブレード(10)を使用してください。

🔧 ジグソーブレード(10)の取り付け・取り外しをするときは、透明防じんカバー(16)を取り外して作業を行ってください。

取り付け

(イラストA参照)

1. ジグソーブレード(10)を点検します。
 - ジグソーブレード(10)はボッシュタイプのものか？
 - ジグソーブレード(10)が曲がっていないか？
 - ジグソーブレード(10)の歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？
2. 取り付けるジグソーブレード(10)の挿入部分を掃除します。
 - 🔧 挿入部分が汚れていると、しっかり固定できません。
3. ジグソーブレード(10)の背をローラーガイド(12)の溝に当て、“カチツ”と音がするまで押し込みます。
4. ジグソーブレード(10)が確実に取り付けられたか、ジグソーブレード(10)を引いて確認します。
抜けなければ、取り付け完了です。

⚠注意

- ◆ ジグソーブレード(10)が確実に取り付けられているか、必ず確認してください。確実に取り付けられていないと、ジグソーブレード(10)が脱落してけがをする恐れがあります。

取り外し

(イラストB参照)

⚠注意

- ◆ けがや事故を防ぐため、イラストの向き(ジグソーブレード(10)が下向き)でジグソーブレード(10)を取り外してください。
- 1. ブレードホルダー(13)を上スライドさせます。
- 2. ブレードホルダー(13)を保持したまま、ジグソーブレード(10)を軽く下に引いて、取り外します。
- 3. ブレードホルダー(13)から手を離します。

作業する

電子セル保護システム (ECP機能)

本機には、電子セル保護システム (ECP機能) がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が自動で停止した状態でメインスイッチ(3)を“入”にし続けると、故障の原因になります。本体が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

温度依存性の過負荷保護

正常な使い方では、この電動工具は過負荷状態になることはありません。

本体が過負荷になった場合や、バッテリー(6)が許容温度範囲外で上がったり下がったりした場合、回転速度が遅くなります。

バッテリー(6)が許容温度範囲内になるまで、最高速度では回転しません。

⚠警告

- ◆ フィンガープロテクター(11)は取り外すことができません。
無理に取り外さないでください。
- ◆ 作業中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。

⚠注意

- ◆ LEDライト(14)点灯中に、LEDライト(14)を直接のぞき込まないでください。

一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。

[1] ジグソーブレード(10)を点検する

下記を点検してください。問題があった場合は、対処してください。

- ジグソーブレード(10)はボッシュタイプのものか？
- ジグソーブレード(10)が曲がっていないか？
- ジグソーブレード(10)の歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

[2] 材料に釘などの異物がないことを確認する

釘などの異物があった場合は、取り除いてください。

△注意

- ◆ 釘などの異物を切断すると、歯先が欠けたり、反発によりけがをしたりする恐れがあります。

[3] 電子無段変速ダイヤル(1)でストローク数を調節する

電子無段変速ダイヤル(1)の調節により、ストローク数(回転スピード)が調節できます。ストローク数を調節することにより、より材料に適した切断が可能となります。

- ☞ 最適なストローク数は、材料やジグソーブレード(10)により異なります。

[4] オービタル切り替えスイッチ(8)を切り替える

オービタル動作は4段階で調整でき、切断速度、切断能力、切断形状を、切断する材料に最適に合わせることができます。

- ☞ オービタル動作を選ぶと、ジグソーブレード(10)は上下運動に加え、前後に振り子運動をします。上下運動だけの場合と比べ、切断速度を高めることができ、効率の良い切断作業が行えます。反面、切断面が粗くなったりささくれが出やすくなったりします。
- ☞ 作業内容や材質に合わせて、オービタル切り替えスイッチ(8)を切り替えてください。
- ☞ 試し切断をして、最適なオービタル動作を決めてください。
- ☞ オービタル切り替えスイッチ(8)の切り替えは、切断中でもできます。
- ☞ きれいな切断面を得るにはオービタル動作“小”を選択してください。

0: 振り子動作なし

- ・鉄板や薄くて硬い金属板などの切断や木材などの仕上げ切断
- ・ジグソーブレード(10)の下向き刃、ナイフ刃使用時

I: オービタル動作小

- ・鉄・アルミニウム・非鉄金属などの切断

II: オービタル動作中

- ・軟質非鉄金属・アルミニウム・プラスチック・木材などの切断

III: オービタル動作大

- ・木材やプラスチックなどの高速切断

[5] 本体にバッテリー(6)を取り付ける

バッテリー(6)を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

△警告

- ◆ メインスイッチロック解除スイッチ(2)のロック(🔒)側が押し込まれていることを確認してから、バッテリー(6)を取り付けてください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー(6)以外は、取り付けしないでください。指定外のバッテリー(6)を取り付けると、本体が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。
- ◆ バッテリー(6)を取り付けるときは、ジグソーブレード(10)が下になるように本体を持って差し込んでください。

△注意

- ◆ バッテリー(3)は二重ロックになっていきます。2回音がするまで押し込んでください。
- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

[6] 電源を“入”にする

1. メインスイッチロック解除スイッチ(2)の解除(🔓)側を押し込みます。
メインスイッチロック解除スイッチ(2)の解除(🔓)側が押し込まれていないと、メインスイッチ(3)は引き込めません。
2. メインスイッチ(3)を引き込みます。
メインスイッチ(3)を引き込むと、LEDライト(14)が点灯します。

△注意

- ◆ メインスイッチ(3)は、ジグソーブレード(10)が切断する材料に当たらない位置で“入”にしてください。
- ◆ LEDライト(14)点灯中に、ライトを直接のぞかないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。
- ☞ メインスイッチ(3)は“入”の状態で固定されません。引き込み続けてください。
- ☞ 電源を切るときは、メインスイッチ(3)から指を離してください。

[7] 切断する

切り始めは、ジグソーブレード(10)をゆっくり材料に押し付けてください。

ストローク数(回転スピード)の調節

メインスイッチ(3)を引き込む加減でストローク数(回転スピード)が調節できます。ストローク数を調節することにより、材料により適した切断が可能となります。メインスイッチ(3)を軽く引き込むと低いストロークになり、いっぱいまで引き込むと最高ストロークになります。

- ☞ プラスチックやアルミニウムなどを切断する場合は、ストローク数を低めにし、焼きつきを防止してください。
- ☞ 最適なストローク数は、材料や作業条件によって異なります。試し作業などをし、最適なストローク数で作業してください。
- ☞ ストローク数を低めにする、より正確にジグソーブレード(10)を切断箇所当てることができます。

△警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。
- ◆ 材料をしっかり固定してから切断を行ってください。
- ◆ 作業するときは、本体の先端部に手や顔を近づけないでください。

△注意

- ◆ メインスイッチ(3)を“入”にしてからジグソーブレード(10)を材料に当ててください。
- ◆ 切断時、本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、ジグソーブレード(10)を傷めて作業効率が下が

たり、本体が故障したりします。

- ◆ 作業中は、材料の下に手を入れないでください。
- ◆ 作業中は、手をジグソーブレード(10)の前に置かないでください。手や指をけがする恐れがあります。
- ◆ 本体が非常に汚れると、重大な事故につながる恐れがあります。大量の切り粉が発生する材料を切断しないでください。
- ☞ ジグソーブレード(10)が材料にかみ込んだときは、すぐに本体の電源を“切”にしてください。
- ☞ 低いストロークで長い時間作業すると、本体が熱くなります。熱くなったときは、ジグソーブレード(10)を本体から取り外し、最高速で3分間ほど空転(無負荷運転)させてモーターを冷ましてください。
- ☞ 小さい、または薄い材料を切断するときは、必ず安定した台を使用してください。
- ☞ ジグソーは、主に曲線の切断用に設計されています。平行ガイド、ガイドレール、サークルカッターなどを使用すると、直線切断や円形切断が正確に行えます。
- ☞ 手持ちのジグソーは、一般的に斜めに外れる傾向があります。つまり、特定の状況下では、角度や切断精度を保証できなくなります。精度に影響を与える要因は、ジグソーブレード(10)の厚さ、切断長さ、および材料の厚さと強度です。選択したアクセサリを使用して切断した結果が、作業内容に合っているか、試し切断をして確認してください。
- ☞ 吸じん口が詰まったときは、作業を中断し、吸じんシステムを取り外して切り粉を取り除いてください。

木材を切る場合

- 木工用のジグソーブレード(10)を使用してください。
- メインスイッチ(3)を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

金属などを切る場合

- 金工用のジグソーブレード(10)を使用してください。
- メインスイッチ(3)を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。
- 金属を切断する場合、切削オイルスプレー

(市販品)を使用すると、スムーズで早い切断作業ができるとともに、ジグソーブレード(10)の寿命が延びます。

プラスチックを切る場合

- プラスチック用のジグソーブレード(10)を使用してください。
- メインスイッチ(3)を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

上手に切断するポイント

ポイント1: 材料の材質と厚みに合ったジグソーブレード(10)を選んでください。きつい曲線を切断する場合は、曲線切断用のジグソーブレード(10)を使用してください。

ポイント2: ジグソーブレード(10)の動きが鈍くならない程度に本体を前に進めてください。無理に力を入れたり、前に進めすぎても、速く切れません。

ポイント3: 切断作業中、ベースプレート(9)の全面が切断材料に接するようにしっかり押しつけてください。

[8] 切断作業を終了する

メインスイッチ(3)から指を離して“切”にします。

- ☞ 切断の途中でいったん作業を中止するときは、本体を後方(切断開始位置の方向)へ移動させ、材料からジグソーブレード(10)を引き抜いてからメインスイッチ(3)を“切”にしてください。

⚠ 注意

- ◆ メインスイッチ(3)を“切”にしたあと、ジグソーブレード(10)の動きを何かに押しつけて急激に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。
- ◆ ジグソーブレード(10)の動きが完全に止まってから、床などへ置いてください。

[9] メインスイッチ(3)をロックする

メインスイッチロック解除スイッチ(2)のロック(6)側を押し込みます。

⚠ 注意

- ◆ 使用しないときは、必ずメインスイッチ(3)をロックしてください。

傾斜切断する

ベースプレート(9)を右または左に傾けて、最大45°の傾斜切断を行うことができます。(イラストG参照)

⚠ 警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、角度を調整するときは、必ず本体からバッテリー(6)を取り外してください。
- ◆ 傾斜切断するときは、15ページ『作業する』の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから行ってください。

⚠ 注意

- ◆ ジグソーブレード(10)は不用意に触れると危険です。けがの発生を防ぐため、取り扱いには注意してください。
- ☞ バリ止めガイド(15)は使用できません。
 - ☞ 透明防じんカバー(16)は取り付けできません。
 - ☞ 吸じんシステム(別売品)は接続できません。
1. 吸じんアダプター(17)が取り付けられているときは、取り外します。
(20ページ「吸じんシステムと接続する」参照)
 2. バリ止めガイド(15)・透明防じんカバー(16)が取り付けられているときは、取り外します。
(19ページ「アクセサリを使う」参照)
 3. 標準付属品の六角棒レンチ(4)でベースプレート固定ネジ(19)を緩めます。
 4. ベースプレート(9)をジグソーブレード(10)の方向に少しスライドさせます。
 5. ベースプレート(9)の角度を調整します。
既定の角度(0°、45°)に調整する:
スケールの溝(0°、45°)に、ベースプレート(9)の突起を合わせて調整します。
任意の角度に調整する:
分度器等を使用して、任意の角度に調整します。ベースプレート(9)は左右に最大45°まで傾けられます。
 6. ベースプレート(9)を本体の後方(バッテリー取り付け部側)に、止まるまでスライドさせます。
 7. 標準付属品の六角棒レンチ(4)でベースプ

- レート固定ネジ(19)を締めて固定します。
8. 「作業する」(15ページ)の[1]項～[9]項の手順で切断します。

ポケット切断する

ポケット切断では、木材や石こうボードなど軟らかい材料の中抜きができます。
(イラストH参照)

⚠警告

- ◆ ポケット切断をするときは、15ページ『作業する』の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから行ってください。

⚠注意

- ◆ 短いジグソーブレード(10)のみを使用してください。
- ☞ 傾斜切断はできません。
- ☞ アルミニウム、軟鋼板、ステンレス等金属の切断はできません。
このような材料は、材料の端から切断するか、ジグソーブレード(10)に合った大きさの貫通穴をあけ、その穴から切断を始めてください。
- 1. 電子無段変速ダイヤル(1)を最高ストロークにします。
- 2. ジグソーブレード(10)が切断線上にくる位置で、ベースプレート(9)の先端部を材料に当て、本体を確実に保持します。
- ☞ ジグソーブレード(10)は、まだ材料に当たらないでください。
- 3. メインスイッチロック解除スイッチ(2)の解除(🔓)側を押し込みます。
- ☞ メインスイッチロック解除スイッチ(2)の解除(🔓)側が押し込まれていないと、メインスイッチ(3)は引き込みません。
- 4. メインスイッチ(3)をいっぱいまで引き込みます。

⚠注意

- ◆ メインスイッチ(3)は、ジグソーブレード(10)が材料に当たらない位置で“入”にしてください。
- ◆ LEDライト(14)点灯中に、ライトを直接のぞかないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。
- ☞ メインスイッチ(3)は“入”の状態で固定さ

れません。引き込み続けてください。

- ☞ メインスイッチ(3)を引き込むと、LEDライト(14)が点灯します。
- ☞ 電源を切るときは、メインスイッチ(3)から指を離してください。
- 5. 本体を確実に保持し、ベースプレート(9)の後端部を支点に、本体をゆっくりと押し込みます。
- ☞ 支点(ベースプレート(9)の後端部)が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。
- ☞ 切断を急がず、ゆっくりジグソーブレード(10)を押し下げてください。
- 6. ベースプレート(9)の全面が材料に接したら、切断線に沿って切断を続けます。
- 7. 切断が終わったらメインスイッチ(3)から指を離して“切”にし、ジグソーブレード(10)が完全に止まったら、本体を材料から離します。
- 8. メインスイッチロック解除スイッチ(2)のロック(🔒)側を押し込みます。

⚠注意

- ◆ 使用しないときは、必ずメインスイッチ(3)をロックしてください。

アクセサリを使う(別売品を含む)

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、アクセサリを取り付けたり取り外したりするときは、必ず本体からバッテリー(6)を取り外してください。

バリ止めガイドを使う(木工切断用)

(イラストC参照)

バリ止めガイド(15)を使用すると、切断面のささくれを防ぎます。

- ☞ あさり歯のジグソーブレード(10)は併用できません。
- ☞ 傾斜切断時は使用できません。

取り付け

ベースプレート(9)の底側から、バリ止めガイド(15)をしっかり押し込みます。

バリ止めガイド(15)は、平らな部分が多い面を下向きにして取り付けてください。

ベースプレート(9)とバリ止めガイド(15)が平

らになっていることを確認してください。

取り外し

ベースプレート(9)の表側から、バリ止めガイド(15)を押し出します。

透明防じんカバーを使う

吸じんシステムと接続して使用するときに取り付けます。

☞ 吸じんシステムを接続しないときは取り外してください。

☞ 傾斜切断時は使用できません。

取り付け

(イラストD参照)

透明防じんカバー(16)を、本体の正面から後方(バッテリー取り付け部側)に向かって押し込みます。

フィンガープロテクター(11)が透明防じんカバー(16)の所定の位置に固定されるまで押し込んでください。

取り外し

透明防じんカバー(16)を手前(本体の正面側)に引き抜きます。

円曲・平行ガイド(別売品)を使う

円曲・平行ガイド(23)を使用すると、円曲(丸形状)切断や平行切断が正確に行えます。

☞ 円曲・平行ガイド(23)が使用できる材料の厚さは、最大30mmです。

平行切断

(イラストI参照)

1. 止めねじ(22)を緩めます。
2. ベースプレート(9)のガイド(21)に、円曲・平行ガイド(23)を図の向きで差し込みます。
3. 円曲・平行ガイド(23)を材料の側面に当てます。
4. 円曲・平行ガイド(23)の目盛りを利用して、切断する幅(長さ)にジグソーブレード(10)の位置を調節します。
- ☞ ジグソーブレード(10)の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。
ジグソーブレード(10)の厚みを測り、円曲・平行ガイド(23)の位置を調節してください。
5. 止めねじ(22)を締めて、円曲・平行ガイド(23)を固定します。

6. 「作業する」(15ページ)の[1]項～[9]項の手順で切断します。

円曲切断

(イラストJ参照)

1. ドリルなどを使用して、切り抜く円の切断線上に、ジグソーブレード(10)を差し込む穴をあけます。
- ☞ ジグソーブレード(10)を差し込むのに十分な大きさの穴をあけてください。
2. ジグソーブレード(10)を穴に通し、本体を材料に設置します。
3. ドリルなどを使用して、切断する円の中心に、円曲・平行ガイド(23)を固定する穴をあけます。
4. 止めねじ(22)を緩めます。
5. ベースプレート(9)のガイド(21)に、円曲・平行ガイド(23)を図の向き(平行切断の時は逆に裏返して)で差し込みます。
6. 円曲・平行ガイド(23)の目盛りを利用して、切断半径にジグソーブレード(10)の位置を調節します。
- ☞ ジグソーブレード(10)の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。
ジグソーブレード(10)の厚みを測り、円曲・平行ガイド(23)の位置を調節してください。
7. 止めねじ(22)を軽く締めて、円曲・平行ガイド(23)を仮に固定します。
8. 円曲・平行ガイド(23)の先端から固定ピン(24)を抜きます。
9. 円曲・平行ガイド(23)の固定ピン差し込み穴に固定ピン(24)を差し込み、3項であけた穴に固定ピンを刺して、円曲・平行ガイド(23)を固定します。
10. 止めねじ(22)を締めて、円曲・平行ガイド(23)を固定します。
11. 「作業する」(15ページ)の[1]項～[9]項の手順で切断します。
- ☞ 逆回りで切断するときは、円曲・平行ガイド(23)をイラストとは反対側から差し込み、同じ要領で取り付けてください。

吸じんシステムと接続する

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続することで、吸じんしながら作業ができます。

各種ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続する場合は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』の「吸じんシステム」のページを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)には、当機種との接続に適合するものと、適合しないものがあります。また、アダプター(別売品)などが必要な場合があります。

(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています)

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんシステムを取り付けたり取り外したりするときは、必ず本体からバッテリー(6)を取り外してください。
- ◆ 乾燥した粉じんや、健康に有害または発がん性のある粉じんを吸引する場合は、専用の集じん機を使用してください。

取り付け

☞ 最適な吸じんを行うには、可能な場合はバリ止めガイド(15)を使用してください。

1. 本体に、透明防じんカバー(16)を取り付けます。
(20ページ「透明防じんカバーを使う」参照)
2. ベースプレート(9)の後部に、吸じんアダプター(17)を差し込みます。
このとき、ベースプレート(9)の取り付け穴に、吸じんアダプター(17)の突起が入るまで差し込んでください。(イラストE参照)
3. 吸じんアダプター(17)に吸じんホース(18)を接続します。(イラストF参照)
4. 吸じんホース(18)とボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機を接続します。

取り外し

1. 吸じんホース(18)をボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機から取り外します。
2. 吸じんアダプター(17)から吸じんホース(18)を取り外します。
3. 吸じんアダプター(17)の突起を押して、吸じんアダプター(17)をベースプレート(9)から取り外します。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は、使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



<http://www.jbrc.com/>



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出しください。

お手入れと保管

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(6)を本体から取り外して、お手入れしてください。

クリーニング

ジグソーブレード(10)に付着した切り粉、ホコリを取り除く

⚠警告

- ◆ ジグソーブレード(10)は、歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

通風口やローラーガイド(12)などに付いた切り粉やホコリを吹き飛ばす

- ☞ 本体に切り粉やホコリがたまると故障の原因になります。

定期的にローラーガイド(12)を掃除する

ジグソーブレード(10)を取り外し、水平な場所で本体を軽くたたいてゴミを取り除きます。

バッテリー取り外しボタンやバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

- ☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

点検

ローラーガイド(12)を定期的に点検する

- ☞ 摩耗しているときは、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

給油

ローラーガイド(12)に給油する

適時、ローラーガイド(12)に潤滑油を1滴塗布してください。

プランジャー(ブレード差し込み口)に給油する

適時、プランジャー(ブレード差し込み口)にスプレー式の潤滑油を塗布してください。

保管

使った後は、バッテリー(6)を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。

廃棄について

バッテリー以外の本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

メインスイッチ(3)を“入”にしても作動しない

原因	対処
バッテリー(6)が取り付けられていない	バッテリー(6)を取り付ける
バッテリー(6)が消耗している (電子セル保護システムが作動した)	バッテリー(6)を充電するか交換する

原因	対処
バッテリー(6)の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー(6)が最適温度範囲内になるまで待つか交換する
本体の温度が最適温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
本体が故障している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

メインスイッチ(3)が引き込めない

原因	対処
メインスイッチロック解除スイッチ(2)がロックの位置になっている	メインスイッチロック解除スイッチ(2)の解除(🔓)側を押し込んで、メインスイッチ(3)のロックを解除する

メインスイッチ(3)を“切”にしても、作動しただま止まらない

原因	対処
内部パーツの不良	バッテリー(6)を取り外し、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

ストローク数が少ない

原因	対処
電子無段変速ダイヤル(1)の設定が低くなっている	電子無段変速ダイヤル(1)を調節する

切断に時間がかかる(切断できない)

原因	対処
ジグソーブレード(10)が摩耗している	ジグソーブレード(10)を新品と交換する
バッテリー(6)が消耗している	バッテリー(6)を充電するか交換する

充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い

原因	対処
バッテリー(6)が購入直後か、長時間使用していない	バッテリー(6)を充電する
バッテリー(6)の寿命が尽きた	バッテリー(6)を交換する

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール

0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813

埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030

FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104

福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486

FAX 092-963-3407

保証サービスについて

プロ用電動工具・メジャーリング ツール保証サービス『PRO360』の ご案内

2022年10月より、弊社ホームページから
ユーザー登録をしていただいたお客様を対象
に、購入日より2年間の保証サービスを実施
させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、
弊社ホームページまたは下記URLでご確認
ください。

[https://www.bosch-professional.jp/jp/
ja/service/](https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/)

**ボッシュ株式会社 電動工具事業部**ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>

〒224-0003

神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目9-32

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

1 609 92A A0V (2024.07)**1 609 92A A0V**

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。